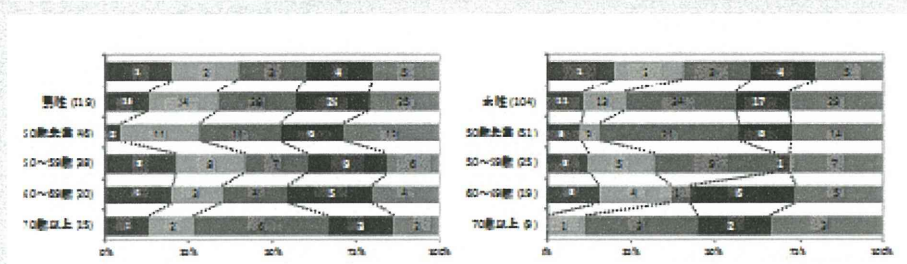


図表 6(2)a-5 IFN 拒否理由(C-1-1)×年齢・性別(H-1,H-2)

C-1-1 はいの場合、インターフェロン治療を受けなかった理由を一つ選んでください。(単一回答)

	拒否理由					有効回答		
	1 費用が高い	2 治療の時期がない	3 副作用が怖い	4 効果が不明	5 その他	割合 (%)	人数	有効回答
TOTAL	27 (12.1)	37 (16.6)	52 (23.2)	43 (19.2)	54 (24.2)	227	4	231
男性	16 (12.4)	24 (20.2)	28 (22.2)	26 (21.0)	25 (21.0)	122	2	118
50歳未満	2 (4.2)	11 (22.9)	11 (22.9)	9 (18.4)	13 (26.5)	47	1	46
50-59歳	8 (21.1)	8 (21.1)	7 (18.8)	9 (23.7)	6 (15.8)	29	1	28
60-69歳	4 (20.0)	3 (15.0)	4 (20.0)	5 (25.0)	4 (20.0)	21	1	20
70歳以上	2 (12.2)	2 (12.2)	6 (36.4)	3 (18.2)	2 (12.2)	15	0	15
女性	11 (10.6)	13 (12.4)	24 (22.9)	17 (16.4)	29 (27.9)	105	1	104
50歳未満	5 (24.1)	3 (14.3)	21 (98.6)	8 (38.1)	14 (65.4)	51	0	51
50-59歳	3 (17.6)	5 (27.8)	9 (50.0)	1 (5.6)	7 (38.9)	25	0	25
60-69歳	3 (15.8)	4 (19.0)	1 (4.8)	6 (28.6)	5 (23.8)	19	0	19
70歳以上	0 (0.0)	1 (11.1)	3 (33.3)	2 (22.2)	3 (33.3)	10	1	9

男性年齢 ($\chi^2=0.7, df=1, p=0.897$)・女性年齢 ($\chi^2=16.5, df=12, p<0.170$)・性別 ($\chi^2=0.0, df=4, p=0.991$)

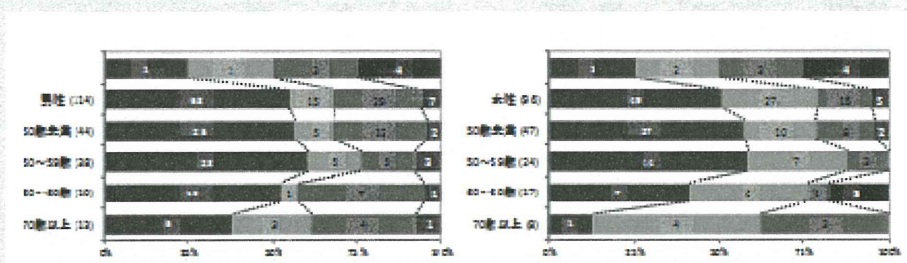


図表 6(2)a-6 IFN 勧誘医師説明(C-1-2)×年齢・性別(H-1,H-2)

C-1-2 はいの場合、医師の説明は十分に受けましたか。(単一回答)

	医師の説明				有効回答		
	1 十分に説明された と理解できた	2 説明されたが理 解できなかった	3 あまり説明がな かった	4 その他	割合 (%)	人数	有効回答
TOTAL	112 (52.2)	42 (20.0)	44 (21.0)	12 (5.7)	227	17	210
男性	63 (50.2)	15 (12.2)	29 (23.4)	7 (5.5)	122	9	114
50歳未満	25 (66.7)	5 (13.5)	12 (31.7)	2 (5.3)	47	2	45
50-59歳	23 (60.5)	6 (15.8)	6 (15.8)	3 (7.9)	29	1	28
60-69歳	10 (50.0)	1 (5.0)	7 (35.0)	1 (5.0)	21	2	19
70歳以上	5 (31.2)	3 (18.8)	4 (25.0)	1 (6.3)	15	2	13
女性	49 (47.0)	27 (26.1)	15 (14.4)	5 (4.8)	105	8	97
50歳未満	27 (67.4)	10 (24.4)	3 (7.4)	2 (4.8)	51	4	47
50-59歳	14 (65.2)	7 (32.6)	3 (13.6)	0 (0.0)	25	1	24
60-69歳	7 (35.0)	6 (30.0)	1 (5.0)	3 (15.0)	19	2	17
70歳以上	1 (12.5)	4 (50.0)	3 (37.5)	0 (0.0)	10	2	8

男性年齢 ($\chi^2=1.1, df=3, p=0.791$)・女性年齢 ($\chi^2=1.0, df=3, p=0.809$)・性別 ($\chi^2=0.9, df=3, p=0.837$)



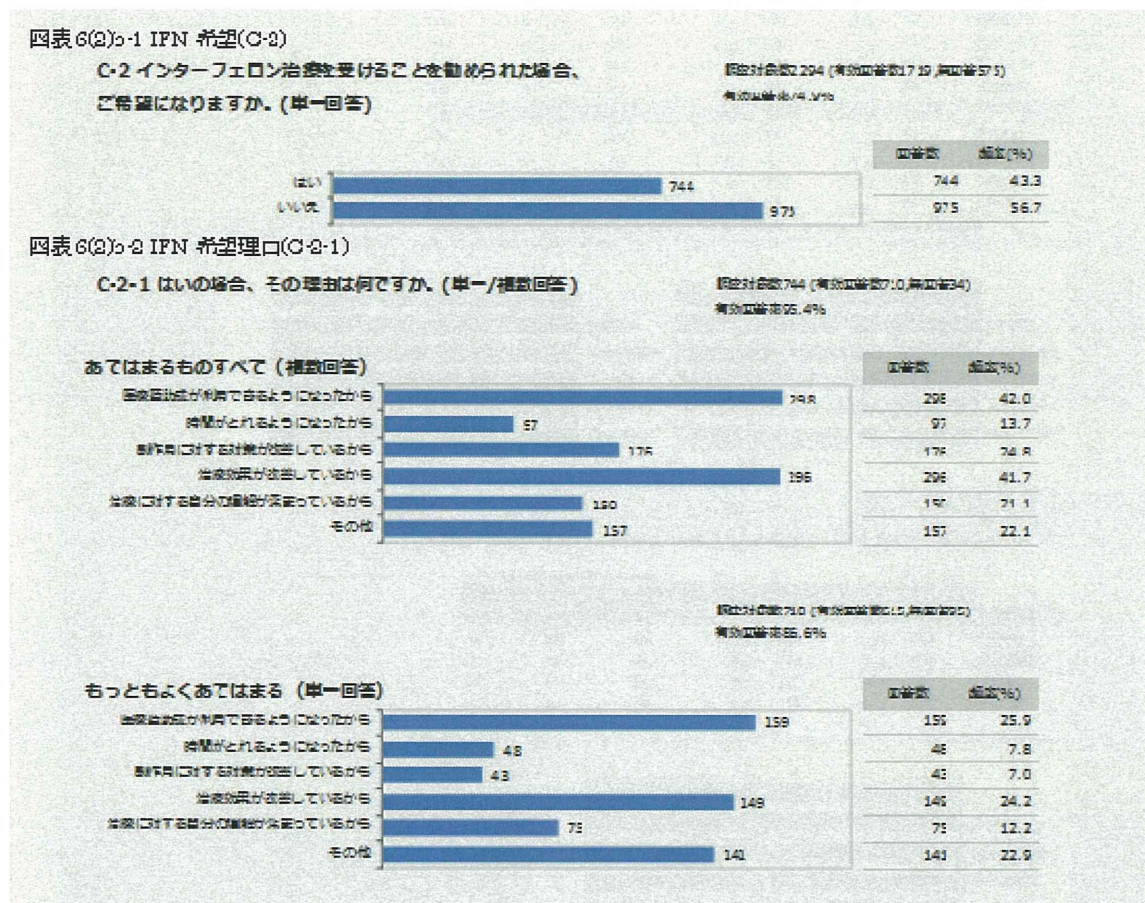
インターフェロン治療未経験者に、医師からインターフェロン治療を勧められたかについて尋ねたところ、有効回答者の 11.6%は勧められたことがあると回答している(図表 6(2)a-1)。性別による有意差はないが、年齢別には、男女ともに、勧められたことがあるのは若年ほど多い傾向がみられる(図表 6(2)a-4)。

医師からインターフェロン治療を勧められた方へ、インターフェロン治療を受けなかった理由を尋ねたところ、有効回答者の 27.6%が「副作用が怖い」と回答している。次いで、「効果が不明」が 19.7%となっている。また、23.7%は「その他」としている。「その他」は、インターフェロン治療を行う時期ではない為というコメントが多かった(図表 6(2)a-2)。性別・年齢による有意差はなかった(図表 6(2)a-5)。

医師からインターフェロン治療を勧められた方へ、医師の説明について尋ねたところ、有効回答者の 53.5%は

「十分に説明されてよく理解できた」と回答している。次いで、「あまり説明がなかった」が20.9%となっている(図表6(2)a-3)。男女別で見ると、「説明されたが理解できなかった」は、女性の方が多かった。年齢による有意差は見られず(図表5(2)-7)。

b. 治療希望



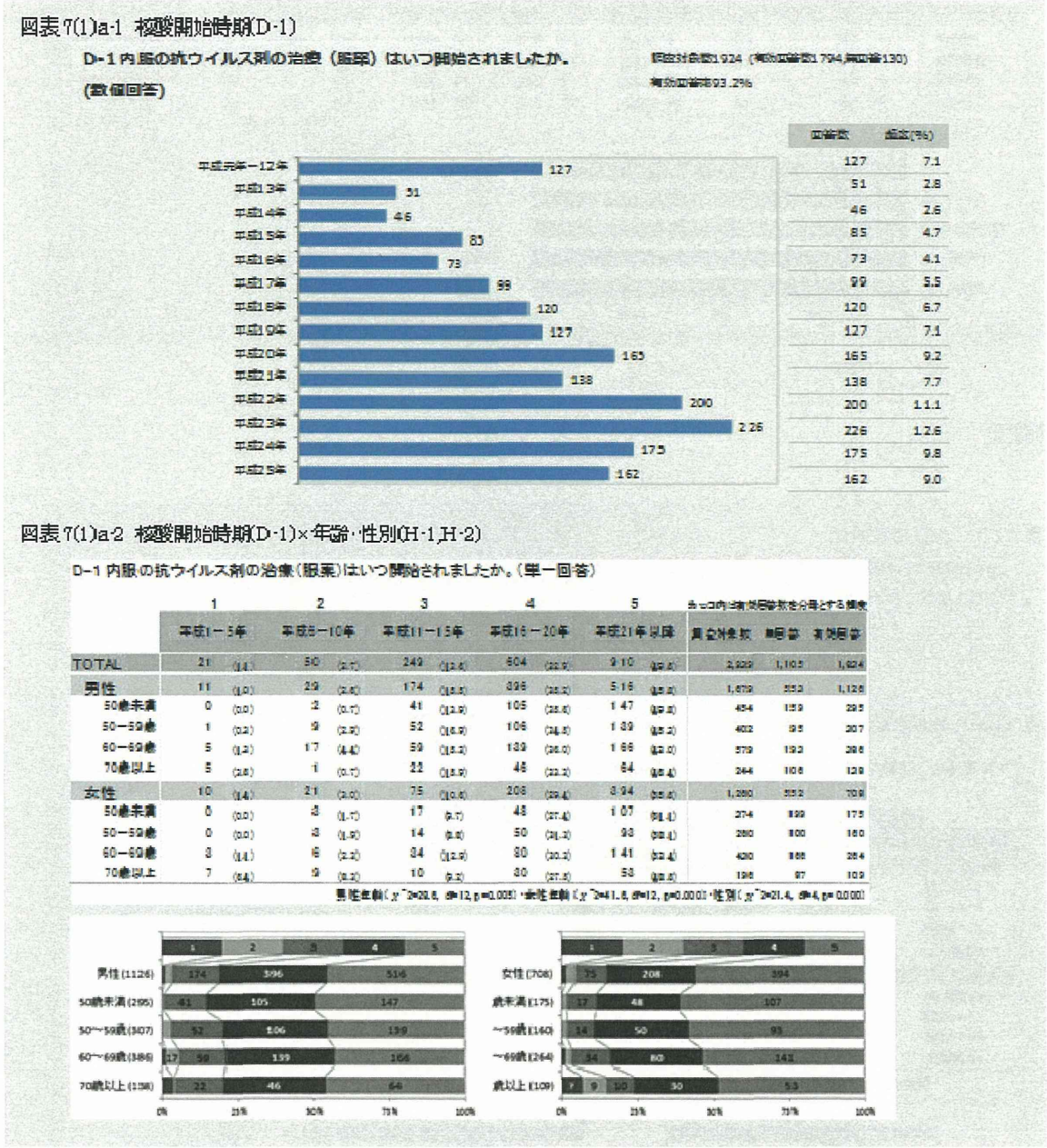
インターフェロン治療を受けることを勧められた場合の希望有無について尋ねたところ、有効回答者の43.3%は希望すると回答している(図表6(2)b-1)。性別による有意差は見られず。年齢別には、男性は有意差が見られなかったが、女性で希望するのは50代が多かった(図表6(2)b-3)。病態別には、希望するのはキャリアが多く、慢性肝炎が少ない(図表6(2)b-4)。インターフェロン治療を受けることを勧められた場合に希望すると回答した方へ、希望する理由を尋ねたところ、複数回答は、有効回答者の42.0%が「医療費助成が利用できるようになったから」と回答している。次いで、「治療効果が改善しているから」が41.7%となっている。単一回答においても同様である。(図表6(2)b-2)。

男女別で見ると、「時間が取れるようになったから」は男性が多く、「副作用に対する対策が改善しているから」は女性が多い。年齢別には、女性に有意差が見られず。男性は、「時間が取れるようになった」が高齢ほど増加する(図表6(2)b-5)。就労/不就労では、「時間が取れるようになったから」、「副作用に対する対策が改善しているから」は、不就労の方が多かった(図表非掲載)。

7. 核酸アナログ製剤

(1) 治療経験あり

a. 服薬開始時期



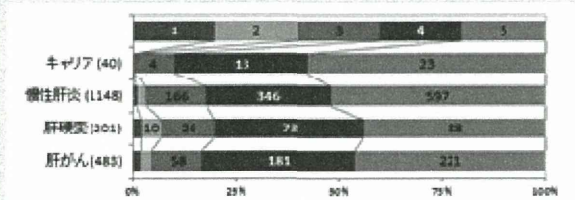
核酸アナログ製剤の治療開始時期について尋ねたところ、有効回答者の 12.6%が平成 23 年と回答しており、平成 21 年以降が全体の 50.2%を占めている(図表 7(1)a-1)。性別で見ると、平成 11~20 年は男性が多く、平成 21 年以降は女性が多い。年齢別には、男女ともに高齢者ほど開始年が早い(図表 7(1)a-2)。病態別では、平成 16~20 年は肝がんが多く、平成 21 年以降は慢性肝炎が多い傾向にあった(図表 7(1)a-3)。

図表 7(1)h-0 核酸開始時期(D-1)×病種

D-1 内服の抗ウイルス剤の治療(服薬)はいつ開始されましたか。(単一回答)

	核酸開始時期					上記5つは有効回答割合とする集計		
	1 平成1-5年	2 平成6-10年	3 平成11-15年	4 平成16-20年	5 平成21年以降	調査対象数	無回答	有効回答
TOTAL	23 (1.2)	53 (2.8)	254 (13.6)	512 (27.0)	229 (12.0)	3,021	1140	1,872
キャリア	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (10.0)	18 (32.0)	28 (57.0)	527	487	40
慢性肝炎	10 (0.0)	22 (2.5)	188 (14.5)	348 (30.0)	597 (52.0)	1,824	478	1,148
肝硬変	4 (0.0)	10 (5.0)	26 (12.0)	78 (36.0)	88 (43.0)	275	74	201
肝がん	9 (0.0)	14 (2.0)	58 (12.0)	181 (37.0)	221 (45.0)	505	111	488

$\chi^2=22.1, df=4, p<0.001$



b. 薬剤変更

図表 7(1)h-1 核酸変更(D-2)

D-2 治療中、お薬の変更はありましたか。服薬中止の場合も変更とみなします。(単一回答)

調査対象数1972 (有効回答数1,928(無回答44))
有効回答率77.5%

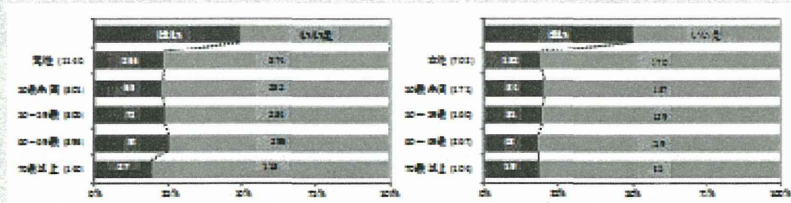


図表 7(1)h-2 薬剤変更(D-2)×年齢・性別(H-1,H-2)

D-2 治療中、お薬の変更はありましたか。服薬中止の場合も変更とみなします。(単一回答)

	核酸変更		上記2つは有効回答割合とする集計		
	はい	いいえ	調査対象数	無回答	有効回答
TOTAL	358 (21.6)	1444 (78.4)	1,882	40	1,842
男性	200 (23.0)	574 (76.7)	1,187	27	1,140
50歳未満	89 (22.0)	232 (77.1)	306	5	301
50-59歳	77 (23.0)	234 (76.7)	307	1	304
60-69歳	88 (24.0)	235 (75.1)	407	14	393
70歳以上	27 (9.0)	113 (80.7)	147	7	140
女性	132 (18.8)	570 (81.2)	715	13	702
50歳未満	34 (19.0)	137 (80.1)	172	1	171
50-59歳	31 (19.4)	129 (80.6)	162	2	160
60-69歳	48 (18.0)	219 (82.0)	272	5	267
70歳以上	19 (18.3)	85 (81.7)	109	5	104

男性年齢($\chi^2=1.9, df=3, p=0.597$)・女性年齢($\chi^2=0.8, df=3, p=0.950$)・性別($\chi^2=5.8, df=1, p=0.022$)

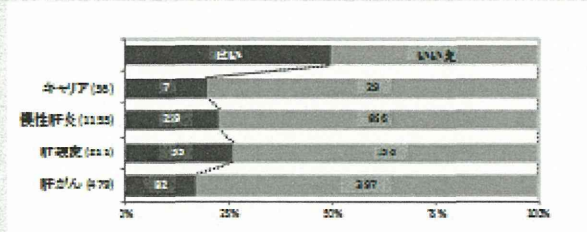


図表 7(1)a-1 薬剤変更(D-2)×病態

D-2 治療中、お薬の変更はありましたか、服薬中止の場合も変更とみなします。(単一回答)

	1		2		お薬の種類別変更回数(複数回答)		
	はい	いいえ	はい	いいえ	追加処方	減薬	変更処方
TOTAL	403 (21.4)	1478 (78.5)	1,224 (83.0)	264 (17.9)	40	4	1,881
キャリア	7 (16.4)	29 (83.5)	40 (83.0)	4 (17.0)	4	0	36
慢性肝炎	229 (22.4)	806 (77.5)	1,189 (83.0)	14 (17.0)	14	0	1,195
肝硬変	55 (24.1)	156 (75.9)	219 (83.0)	38 (17.0)	8	0	211
肝がん	82 (17.1)	397 (82.9)	496 (83.0)	94 (17.0)	17	0	479

$\chi^2=2.7$, $p=0.033$



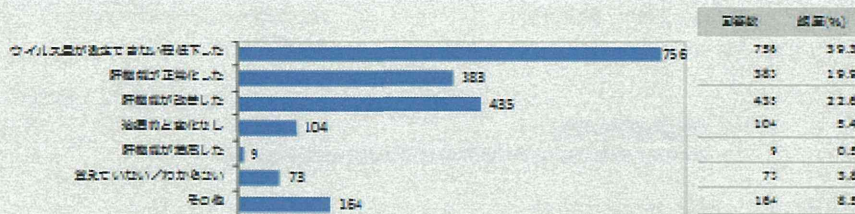
治療中の薬剤の変更有無について尋ねたところ、有効回答者の 23.2%は変更があったと回答している(図表 7(1)a-1)。男女別には、変更があったのは男性の方が多。年齢別には有意差が見られなかった(図表 7(1)a-2)。病態別に見ると、肝がんは変更があった人が少ない傾向にあった(図表 7(1)a-3)。

c. 治療効果

図表 7(1)-1 療養効果(D-3)

D-3 治療に対する効果について、現在、どのようにであると説明を受けていますか。(単一回答)

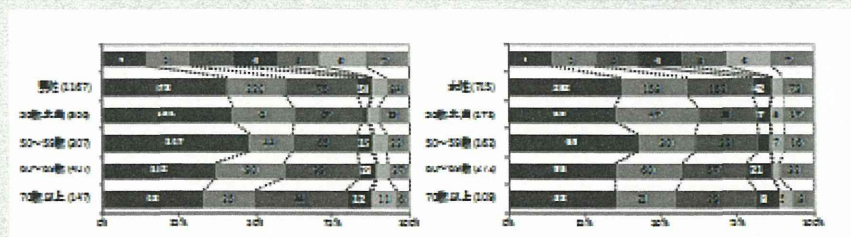
有効回答数 924 (有効回答率 92.4%, 無回答 0)
有効回答率 100.0%



図表 7(1)-2 療養効果(D-3)×年齢・性別(H-1,H-2)

D-3 治療に対する効果について、現在、どのようにであると説明を受けていますか。(単一回答)

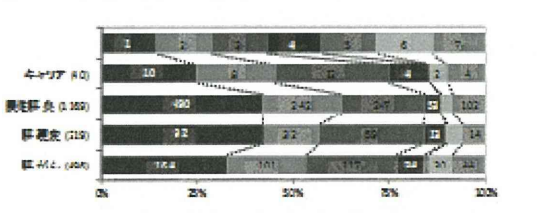
	1							お薬の種類別変更回数(複数回答)		
	オンライン授業が適度に受けられた	肝機能が正常化した	肝機能が改善した	治療前と変化なし	肝機能が悪化した	覚えていない/わからない	その他	追加処方	減薬	変更処方
TOTAL	742 (80.3)	379 (41.0)	435 (46.8)	104 (11.2)	9 (1.0)	73 (7.9)	164 (17.7)	40	4	1,881
男性	479 (80.3)	239 (40.3)	272 (45.7)	62 (10.4)	5 (0.8)	40 (6.7)	117 (19.7)	20	0	1,197
女性	263 (80.3)	140 (42.9)	163 (50.0)	42 (12.8)	4 (1.2)	33 (10.1)	47 (14.3)	20	4	1,684
30歳未満	121 (80.3)	61 (40.7)	67 (44.7)	10 (6.6)	1 (0.6)	8 (5.3)	22 (14.7)	4	0	196
30-49歳	347 (80.3)	177 (40.7)	199 (45.3)	52 (11.8)	2 (0.5)	12 (2.7)	68 (15.4)	14	0	1,195
50-69歳	192 (80.3)	90 (38.7)	98 (41.2)	24 (10.1)	2 (0.8)	16 (6.8)	27 (11.5)	8	0	211
70歳以上	88 (80.3)	37 (34.1)	48 (44.4)	10 (9.3)	1 (0.9)	11 (10.2)	9 (8.3)	0	0	107
キャリア	67 (80.3)	33 (39.7)	37 (44.8)	7 (8.5)	0 (0.0)	4 (4.9)	17 (20.7)	4	0	36
慢性肝炎	479 (80.3)	239 (40.3)	272 (45.7)	62 (10.4)	5 (0.8)	40 (6.7)	117 (19.7)	20	0	1,195
肝硬変	263 (80.3)	140 (42.9)	163 (50.0)	42 (12.8)	4 (1.2)	33 (10.1)	47 (14.3)	8	0	211
肝がん	164 (80.3)	82 (49.4)	98 (59.8)	24 (14.6)	2 (1.2)	16 (9.8)	17 (10.4)	17	0	479



図表 7(1)c-3 核酸効果(D-3)×病態

D-3 治療に対する効果について、現在、どのようであると説明を付けていますか。(単一回答)

	ウイルス量が測定できないほど低下した							割合	病態別		
	1	2	3	4	5	6	7		慢性肝炎	肝がん	肝硬変
TOTAL	758 (26.0)	262 (9.0)	623 (21.6)	104 (3.6)	9 (0.3)	72 (2.5)	184 (6.4)	1,924	0	1,924	
男性	490 (17.0)	0 (0.0)	17 (0.6)	4 (0.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (0.1)	2,878	0	2,878	
女性	268 (9.3)	262 (9.1)	606 (21.4)	100 (3.5)	9 (0.3)	72 (2.5)	180 (6.3)	1,046	0	1,046	



核酸アナログ製剤治療の現状の効果について尋ねたところ、有効回答者の39.3%が「ウイルス量が測定できないほど低下した」と回答している。次いで「肝機能が改善した」が22.6%となっている(図表7(1)c-1)。性別による有意差は見られず。年齢別には、男性の場合、「ウイルス量が測定できないほど低下した」が50代に多く、「肝機能が正常化した」が60代に多い。女性は年齢による有意差は見られなかった(図表7(1)c-2)。病態別には、「ウイルス量が測定できないほど低下した」は慢性肝炎に多く、「肝機能が憎悪した」は肝がんが多い(図表7(1)c-3)。

d. 怠薬

図表 7(1)d-1 核酸怠薬(D-12)

D-12 内服の抗ウイルス剤の飲み忘れは、最近3か月で、2日以上ありましたか。(単一回答)

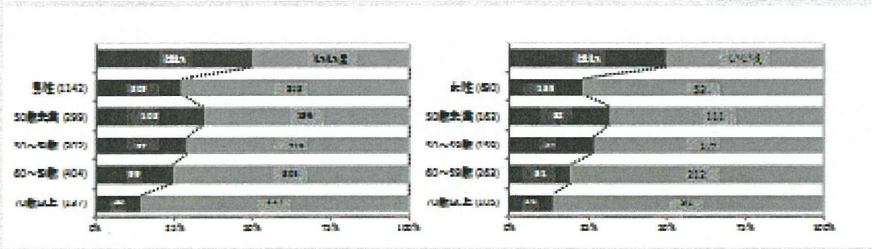
回答総数1924 (有効回答数1968(102.4%))
有効回答率97.1%



図表 7(1)d-2 核酸怠薬(D-12)×年齢・性別(II 1,II 2)

D-12 内服の抗ウイルス剤の飲み忘れは、最近3か月で、2日以上ありましたか。(単一回答)

	はい		いいえ		有効回答者数を母数とする割合	
	人数	割合	人数	割合	人数	有効回答
TOTAL	458 (23.8)	1354 (76.2)	1,812	90	1,902	
男性	309 (10.7)	833 (29.2)	1,142	25	1,167	
50歳未満	103 (34.4)	195 (65.6)	297	7	304	
50-59歳	87 (28.0)	215 (72.0)	297	5	302	
60-69歳	90 (29.0)	209 (71.0)	407	3	410	
70歳以上	20 (6.4)	117 (36.6)	147	10	157	
女性	150 (52.0)	531 (178.0)	715	25	740	
50歳未満	52 (17.3)	111 (36.1)	172	9	181	
50-59歳	42 (14.0)	117 (38.5)	162	3	165	
60-69歳	51 (17.0)	212 (69.0)	272	9	281	
70歳以上	14 (4.6)	91 (29.7)	109	4	113	

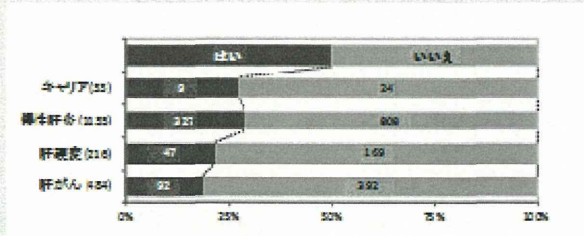


図表 7(1)1-3 核酸総薬(D-12)×病態

D-12 内服の抗ウイルス剤の飲み忘れは、最近3か月で、2回以上ありましたか。(単一回答)

	1		2		※その内には有効回答数を分母とする割合		
	はい	いいえ	はい	いいえ	調査対象数	無回答	有効回答
TOTAL	473 (25.4)	1353 (74.6)	1,324	55	1,363		
キャリア	9 (27.3)	24 (72.7)	40	7	33		
慢性肝炎	327 (28.8)	808 (71.2)	1,169	34	1,193		
肝硬変	47 (21.8)	169 (78.2)	219	3	216		
肝がん	92 (19.0)	392 (81.0)	496	12	484		

$\chi^2=12.0, df=1, p<0.000$

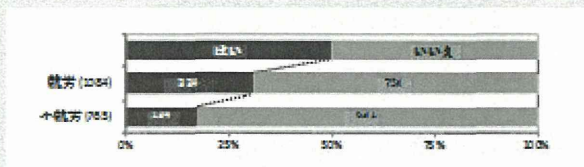


図表 7(1)1-4 核酸総薬(D-12)×就労(H-4)

D-12 内服の抗ウイルス剤の飲み忘れは、最近3か月で、2回以上ありましたか。(単一回答)

	1		2		※その内には有効回答数を分母とする割合		
	はい	いいえ	調査対象数	無回答	有効回答		
TOTAL	458 (25.3)	1331 (74.7)	1,329	50	1,349		
就労	334 (30.8)	750 (69.2)	1,116	32	1,084		
不就労	124 (17.5)	581 (82.5)	783	18	795		

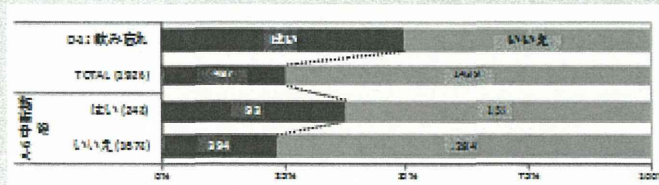
$\chi^2=41.9, df=1, p<0.000$



図表 7(1)1-5 核酸総薬(D-12)×中断誘惑(A-6)

	D-12 内服の抗ウイルス剤の飲み忘れは、最近3か月で、2回以上ありましたか。		※その内には有効回答数を分母とする割合		
	はい	いいえ	調査対象数	無回答	有効回答
TOTAL	457 (25.4)	1432 (74.6)	2,327	111	1,926
A-6 現在受けている治療を、中断したいと思うことはありますか。	はい	いいえ			
はい (242)	93 (38.4)	155 (63.6)	218	57	240
いいえ (257)	204 (79.1)	1,284 (81.9)	2,522	844	1,678

$\chi^2=225, df=1, p<0.000$



核酸アナログ製剤治療中の飲み忘れについて尋ねたところ、有効回答者の25.4%が最近3ヶ月のうち、2回以上飲み忘れたことがあると回答している(図表7(1)d-1)。性別による有意差は見られず。年齢別には、最近3ヶ月のうち2回以上飲み忘れたことがあるのは、男女ともに若年ほど多い傾向が見られる(図表7(1)d-2)。病態別には慢性肝炎が多く、肝がんが少ない(図表7(1)d-3)。就労/不就労では、就労が多い(図表7(1)d-4)。中断誘惑で見ると、現在の治療を中断したい人ほど飲み忘れが多い(図表7(1)d-5)。

e. 耐性ウイルス（知識/告知）

図表 7(1)e-1 耐性認知(D-14)

D-14 耐性ウイルス（お薬が効かないウイルス）について聞いたことがありますか。（単一回答）

調査対象者 924 (有効回答率 95.1%)
有効回答数 867 (93.8%)

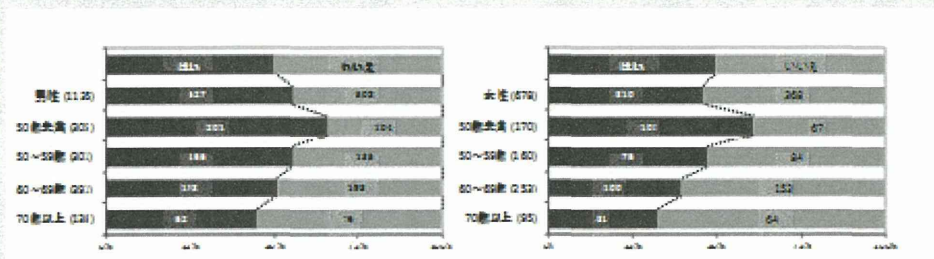


図表 7(1)e-2 耐性認知(D-14)×年齢・性別(H-1,H-2)

D-14 耐性ウイルス（お薬が効かないウイルス）について聞いたことがありますか。（単一回答）

	1		2		※※※※※内は有効回答数/分母とする横表		
	はい	いいえ	調査対象数	無回答	有効回答	割合 (%)	
TOTAL	837 (90.7)	87 (9.3)	1,822	89	1,813		
男性	827 (93.2)	59 (6.8)	1,167	82	1,135		
50歳未満	201 (85.9)	34 (14.1)	306	1	305		
50～59歳	166 (55.1)	135 (44.9)	307	6	301		
60～69歳	188 (50.6)	183 (49.4)	407	16	391		
70歳以上	62 (44.9)	76 (55.1)	147	9	138		
女性	310 (45.7)	368 (54.3)	715	37	678		
50歳未満	103 (60.6)	67 (39.4)	172	2	170		
50～59歳	76 (47.5)	84 (52.5)	162	2	160		
60～69歳	100 (59.2)	70 (40.8)	272	19	253		
70歳以上	31 (32.6)	64 (67.4)	100	14	86		

男性年齢 ($\chi^2=21.9, df=3, p<0.000$)・女性年齢 ($\chi^2=15.9, df=3, p<0.000$)・性別 ($\chi^2=15.4, df=1, p<0.000$)



図表 7(1)e-3 耐性告知(D-15)

D-15 あなたに耐性ウイルスがあると、医師から説明されたことがありますか。（単一回答）

調査対象者 617 (有効回答率 66.3%)
有効回答数 597 (96.8%)



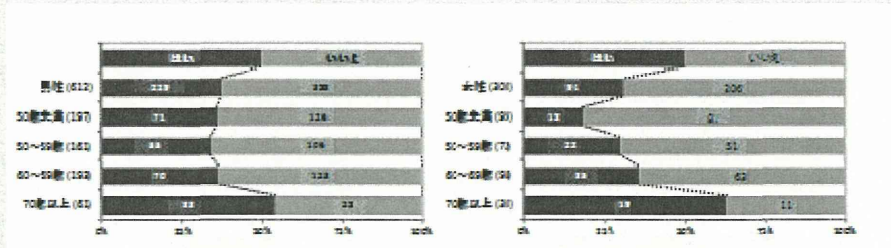
表 7(1)e-4 耐性告知(D-15)×年齢・性別(H-1,H-2)

D-15 あなたに耐性ウイルスがあると、医師から説明されたことがありますか。（単一回答）

	1		2		※※※※※内は有効回答数/分母とする横表		
	はい	いいえ	調査対象数	無回答	有効回答	割合 (%)	
TOTAL	323 (52.4)	289 (47.6)	617	25	592		
男性	229 (57.4)	169 (42.6)	407	15	392		
50歳未満	71 (36.0)	126 (64.0)	201	4	197		
50～59歳	55 (34.2)	106 (65.8)	166	5	161		
60～69歳	70 (36.3)	123 (63.7)	196	5	193		
70歳以上	33 (54.1)	28 (45.9)	62	1	61		
女性	94 (31.3)	206 (68.7)	310	10	300		
50歳未満	18 (18.2)	81 (81.8)	102	4	99		
50～59歳	22 (30.1)	51 (69.9)	76	3	73		
60～69歳	35 (35.7)	63 (64.3)	100	2	98		
70歳以上	19 (52.1)	17 (47.9)	36	1	35		

男性年齢 ($\chi^2=8.2, df=1, p=0.016$)・女性年齢 ($\chi^2=22.2, df=1, p<0.000$)・性別 ($\chi^2=8.2, df=1, p=0.016$)

図7(1)e-4 耐性告知(D-15)×年齢・性別(H-1,H-2)



耐性ウイルスについて聞いたことがあるか尋ねたところ、有効回答者の51.2%は聞いたことがあると回答している(図表7(1)e-1)。男女別には、聞いたことがあるのは男性が多い。年齢別には、男女ともに若年ほど多い傾向が見られる(図表7(1)e-2)。

耐性ウイルスについて聞いたことがあると回答した方へ、耐性ウイルスについて医師から説明を受けたことがあるか尋ねたところ、有効回答者の35.4%が医師から説明を受けたことがあると回答している(図表7(1)e-3)。性別による有意差はない。年齢別には、耐性ウイルスの説明を受けたことがあるのは男女ともに高齢者ほど多い傾向が見られる(図表7(1)e-4)。

f. 治療満足度

図表7(1)f-1 核糖効果満足(D-4)

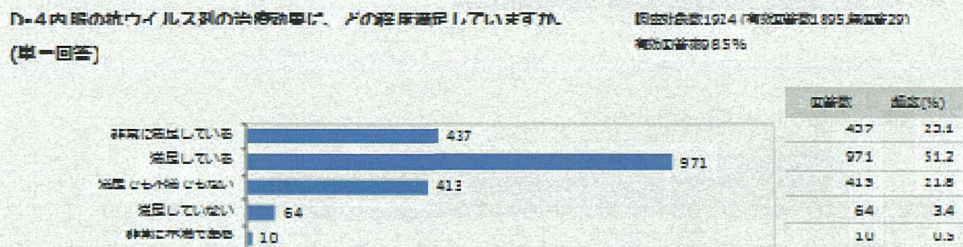


表7(1)f-2 核糖効果満足(D-4)×年齢・性別(H-1,H-2)

D-4内服の抗ウイルス剤の治療効果に、どの程度満足していますか。(単一回答)

	満足度					D-4内服の有効回答者数と50歳未満者数		
	1 非常に満足している	2 満足している	3 満足はしませんがよい	4 満足していない	5 非常に不満である	有効回答数	無回答	有効回答率
TOTAL	431 (23.1)	949 (51.2)	402 (21.7)	61 (3.2)	10 (0.5)	1,812	29	98.52
男性	277 (44.9)	555 (89.8)	144 (23.2)	40 (6.5)	5 (0.8)	1,117	15	87.52
50歳未満	80 (12.7)	143 (23.2)	65 (10.5)	15 (2.4)	2 (0.3)	298	1	96.64
50～59歳	63 (10.1)	155 (25.1)	74 (11.9)	12 (1.9)	1 (0.2)	297	2	96.34
60～69歳	95 (15.3)	220 (35.7)	70 (11.2)	10 (1.6)	3 (0.5)	497	9	98.19
70歳以上	39 (6.2)	67 (10.8)	35 (5.6)	3 (0.5)	0 (0.0)	147	1	99.32
女性	154 (24.8)	354 (57.1)	158 (25.6)	21 (3.4)	4 (0.6)	735	14	98.11
50歳未満	42 (6.7)	81 (13.1)	40 (6.4)	6 (1.0)	1 (0.2)	172	2	88.95
50～59歳	29 (4.6)	88 (14.2)	39 (6.2)	5 (0.8)	1 (0.2)	162	2	87.65
60～69歳	59 (9.4)	140 (22.6)	57 (9.1)	8 (1.3)	1 (0.2)	272	7	97.43
70歳以上	24 (3.8)	57 (9.1)	22 (3.5)	2 (0.3)	1 (0.2)	169	3	98.22

男性年齢別χ² Test=13.5, df=12, p=0.29771; 女性年齢別χ² Test=4.1, df=12, p=0.9811; 性別χ² Test=1.3, df=4, p=0.8071